

# 施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (1)企業活動の促進・働く場の充実

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

## ■基本施策が目指す姿

多様な企業が、市内に立地し、事業活動を活発に行うことで、雇用が創出されています。

## ■関連する分野別計画

## ■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	H31	H32	H33		
1	企業立地・事業拡張件数	件	-	H27	0					10
2	製造品出荷額等の額	億円	10,495	H26	-					11,200
3	製造業の従業者数	人	9,701	H26	-					10,200
4										
5										

## ■市民アンケート調査

項目		重要度	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1	企業活動が活発に行われている	重要度	1.24			
		満足度	▲ 0.37			
2	働く場が充実している	重要度	1.46			
		満足度	▲ 0.64			
3		重要度				
		満足度				
4		重要度				
		満足度				
5		重要度				
		満足度				

## ■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
<b>B</b>	産業振興奨励制度の見直しにより企業立地に向けた環境は整えることができたが、新制度を活用した企業誘致等には至らなかったため、持続可能な産業構造の構築は個別判定をB評価とした。また、既存企業の活性化は、雇用対策協議会事業及び商工会議所との連携事業により概ね推進できており、B評価とした。雇用の創出と働きやすい環境づくりは、雇用対策協議会主催の求人懇談会に加え、ハローワークと連携し、就職面接会で雇用を創出できた一方で、年度中の創業に至らなかったためB評価とした。一方で企業との連携によるまちづくりでは、鈴鹿川等源流の森林づくりへの参画など企業のCSR活動の推進が概ねできたことからB評価とした。以上のことから総合判定をBとした。
まずまず進んでいる	
反省点・課題	
新しい産業振興奨励制度の申し込みがなかったことや創業者向けの利子補給制度の利用が1件に留まったことから、制度の周知を徹底していく必要がある。広域的なネットワークを有する県や産業団地の開発主体、金融機関等との情報共有や連携した取り組みにより、積極的に誘致活動を進める必要がある。また、雇用対策協議会主催の求人懇談会やハローワークと連携した企業就職面接会は、参加企業からの開催ニーズが高いことから、引き続き開催していく必要がある。	

## 今後の展開方針

平成30年3月に完成した亀山・関テクヒルズに企業誘致を進める。については、立地を検討している企業の把握やスピード感を持った企業対応に努めるとともに、企業に対して、産業振興奨励制度や立地特性を効果的に情報発信していく。そのほか、関係機関としっかりと連携して創業者向けの利子補給制度の周知を徹底していく。企業からの開催ニーズが高い雇用対策協議会主催の求人懇談会やハローワークと連携した企業就職面接会を、引き続き開催していくとともに、市内企業のCSR活動につながる取り組みを行う。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 持続可能な産業構造の構築						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B まずまず進んでいる	活動	<p>企業立地を取り巻く環境を踏まえ、土地取得に対する支援や新規雇用者要件の緩和など、新たな産業振興奨励制度を平成29年4月に施行し、既存企業や進出を検討している企業に対して、制度の周知、活用を促し、企業誘致に取り組んだ。</p>			評価	<p>平成29年度においては、新制度を活用しての設備投資、企業誘致には至らなかったが、食品関係企業の進出が決定となり、また、平成30年3月に亀山・関テクヘルズの新区画が完成し、持続可能な産業構造の構築は、まずまず推進できている。</p>
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動 成果
	17061	産業振興奨励事業		主	47,300 / 47,010	B C
事業以外の取組	内容					活動 成果

施策の方向② 既存企業の活性化						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B まずまず進んでいる	活動	<p>亀山市雇用対策協議会事業により定期的な情報交換の場を持ち、情報発信を行った。亀山商工会議所と連携を図り、専門家派遣事業などにより、販路開拓や商品開発等による経営力向上を目指す市内の中小企業者等の取り組みを支援した。</p>			評価	<p>亀山市雇用対策協議会の事業を通じ、積極的に既存企業間交流の場を設け、企業ニーズの把握に努めるとともに、亀山商工会議所と連携した事業により、既存企業の活性化に向けて概ね施策を推進できている。</p>
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動 成果
	5003	団体支援事業(労働者対策事業)		標	2,005 / 1,834	B B
事業以外の取組	内容					活動 成果
						A A

施策の方向③ 雇用の創出と働きやすい環境づくり						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B まずまず進んでいる	活動	<p>既存企業の人手不足に対応するため亀山市雇用対策協議会における求人懇談会やハローワークと連携し、就職面談会を開催した。亀山商工会議所に委託して創業塾(全4回)を開催した。また、労働力確保が非常に困難な雇用情勢となるなど変換期を迎えているため、労働関係機関が集まって意見交換できる場として働く環境づくり懇談会を開催した。</p>			評価	<p>求人懇談会や就職面談会の開催により雇用促進が図られた。一方で、亀山商工会議所に委託した創業塾には17名の参加があったものの、年度中の創業にまでは至らなかった。また、ワークライフバランスをテーマに働く環境づくり懇談会を開催し、中小企業等の働き方改革に向け、理解を深めたことから、まずまず推進が図れている。</p>
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動 成果
	5002	融資対策事業		標	29,500 / 29,500	B B
	5003	団体支援事業(労働者対策事業)		標	2,005 / 1,834	B B
事業以外の取組	内容					活動 成果
	市内企業に対するワーク・ライフ・バランス週間への協力依頼					B B

施策の方向④ 企業との連携によるまちづくり						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B まずまず進んでいる	活動	<p>市内事業所等に対し、鈴鹿川の源流域における森林活動を行う森林づくり協議会への参画を働きかけた。また、市内の小学生を対象とした地域企業の魅力を伝える職業体験イベント(カメジョブキッズ)を開催する亀山商工会議所に対し、企業のCSRにつながるような企画となるよう働きかけた。また、市内事業者(亀山商工会青年部)に対して、市内のCSRの取り組み紹介を行った。</p>			評価	<p>鈴鹿川等源流の森林づくり協議会への参画意向を約40社から得た。また、子どもたちが市内商工業の職業体験を行う機会を設けるなど、CSR活動の支援に向けて進めており、企業との連携によるまちづくりは概ね推進できている。</p>
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動 成果
					/	
事業以外の取組	内容					活動 成果
	市内事業所等に対する「鈴鹿川等源流の森林づくり協議会」への参画の働きかけ					A A